

「地域社会」に新たな価値を提供し続ける
デスティネーション・カンパニーへ

株主通信

第69期 上半期事業報告書

2025年4月1日から2025年9月30日まで

証券コード：9956



成長を続ける風土をさらに強化し、 1兆円企業への基盤を築く

取締役社長 小池 孝幸

valor Holdings
創造 先取 挑戦



2026年3月期上半期の振り返りと中期3ヵ年経営計画の進捗

株主の皆さまには、日頃より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

2026年3月期第2四半期(中間期)は、当社グループの持つ多様なフォーマットと事業基盤が相互に機能し、営業収益は過去最高、各段階利益は二桁の増益を達成しました。とりわけ、積極的な成長投資を進めながらも利益を伸ばすことができた点は、当社グループの投資効率が着実に改善していることを示すものです。

営業収益は4,505億円(前年同期比6.8%増)と中間期として過去最高を更新し、営業利益は140億円(同34.6%増)、経常利益は150億円(同23.6%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は82億円(同22.9%増)と大きく伸長しました。新規出店や人件費の増加など先行投資が重くなりやすい局面にありながら、構造改革や生産性向上の取り組みが投資負担を吸収し、増益につなげています。

スーパーマーケット(SM)事業は、既存店の堅調な伸びに加え、関西エリアを中心に新規出店が業績に寄与しました。SMパロー香里園店・八幡ノ坪店が計画を上回って推移したほか、9月には兵庫県へ初出店を果たし、11月には神奈川県への初出店も予定しています。人口集積エリアでの出店拡大は、SM事業の成長をさらに後押しします。既存店においては、鮮魚部門の寿司、インスタペカリー、生フルーツデザートなど、販売現場から生まれた“店舗起点の製造小売モデル”が売上総利益率の改善に寄与しました。

加えて、坪数に応じた最適な店舗フォーマットを確立したことにより、タチャ・八百鮮・たこーといった生鮮専門フォーマットの出店も進み、早期黒字化を実現しました。フォーマット多様化を含む投資効率の向上が、積極的な出店や改装投資を行いながら、SM事業の営業利益が

前年同期比23.1%増と大きく伸びた要因となっています。

ホームセンター事業は、主要3社による統一商談による仕入条件の改善、専門カテゴリー強化などが奏功し、営業利益は前年同期比79.7%増と大幅に改善しました。ドラッグストア事業では商圏特性に応じた店舗フォーマットの見直しや調達連携を進め、スポーツクラブ事業では行政との連携強化や会費改定が収益改善に寄与しました。その他の事業では、クレジットカード事業が会員増を背景に大幅改善し、通期黒字化を見込んでいます。

10月には、愛知県三河エリアを中心に33店舗を展開する株式会社ドミーを子会社化しました。物流・調達の共通化やPB商品展開など、グループとしての総合力を活かしたシナジー創出に取り組み、地域密着の強みと当社のノウハウを融合させてまいります。

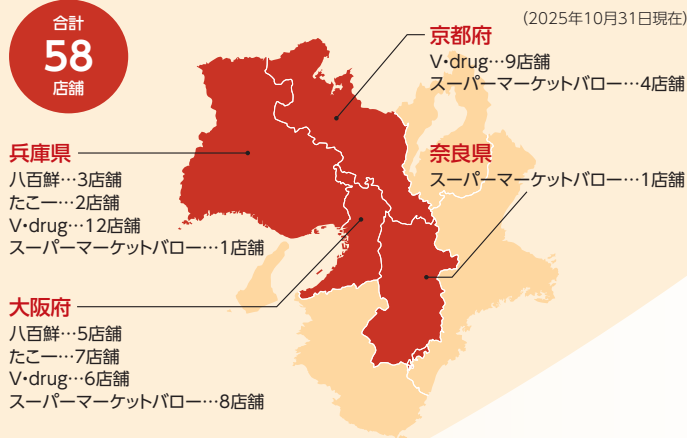
当社グループの特徴である製造小売モデルも進化を続けています。販売現場から生まれた“八百屋スイーツ”は前年の17倍の売上となり、11月には生フルーツデザート専用工場が稼働予定です。一方で、大東食研株式会社をはじめとする製造部門では原料調達の共通化や品質管理の高度化を進め、事業会社との連携による効率化も進展しています。

2028年3月期の営業収益1兆円の達成に向け、今後もグループ全体の事業基盤を強化しながら、地域のお客様に最も選ばれる企業として持続的成長を実現してまいります。株主の皆さまには、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

関西圏での成長加速 ～1,000億円規模を目指す出店戦略～



(2025年10月31日現在)



当社グループは、中期経営計画で重点エリアと位置付ける関西圏での出店を着実に進めています。2025年度上期には大阪府寝屋川市に「SMパロー香里園店」、京都府八幡市に「SMパロー八幡ノ坪店」を開業し、生鮮・惣菜・ベーカリーを中心に「デスティネーション・ストア」としての価値提供を強化しました。

続いて9月には兵庫県で初となる「SMパロー尼崎潮江店」を開業し、関西3府県での展開が本格化しています。10月には大阪府岸和田市で「SMパロー東岸和田店」も開店し、南大阪エリアでも基盤を広げています。

これらの店舗はいずれも当社の強みである「鮮度」「品質」「出来立て」の価値を高い水準で実現しており、地域のお客様からも幅広い支持をいただいています。

こうした出店の積み重ねにより、当社が掲げる関西圏売上高1,000億円体制に向けた基盤づくりが着実に進展しています。今後も地域特性に応じた店づくりと商品力の強化を進め、関西圏でのさらなる成長を目指してまいります。

株式会社ドミーの子会社化で 中部エリア基盤を強化



株式会社ドミー 概要

社名	株式会社ドミー (Domy Co., Ltd.)
本社所在地	愛知県岡崎市
設立	1966年(昭和41年)12月
代表者	代表取締役社長 竹之内 栄生
事業内容	食料品を中心としたスーパーマーケットの経営
店舗数	33店舗(愛知県岡崎市・豊田市・豊橋市・蒲都市などに展開)
売上高	約318億円(2025年5月期)
従業員数	約1,360名(パート含む)
特徴	安心・安全で新鮮な商品をお届けし、お客様の暮らしを豊かにする「毎日の食卓のパートナー」として、品質とサービスの向上に努めています。

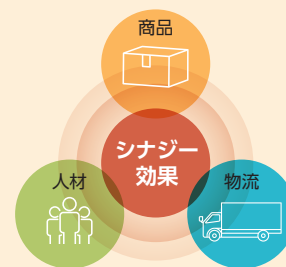
店舗数
33
店舗

売上高
約**318**
億円

当社は2025年10月、愛知県を地盤とするスーパーマーケットの株式会社ドミーを完全子会社化しました。岡崎市を中心に33店舗を展開し、地域に根ざした経営と、生鮮食品を中心とした高い専門性で強固な顧客基盤を築いてきた企業です。今回の子会社化により、こうしたドミーの地域密着力と、当社グループの商品・物流・IT・人材育成といった経営基盤を融合させることで、中部エリアの事業基盤を強固にしていまいります。

当社のプライベートブランド商品の導入を加速し、店舗の商品力の強化を実現してまいります。また、人的交流を活発化し、店舗運営ノウハウや販売力を共有することで、双方の強みを活かした運営体制を構築してまいります。

また、岡崎・豊田・豊橋などのドミー既存商圏は、当社のスーパーマーケット事業にとっても重要な拠点エリアであり、出店戦略上の中核地域となります。三河エリアを中心に広域ネットワークを最適化することで、グループとしての営業・物流効率を高め、持続的な成長基盤を整えていきます。



注目の新店舗 ～地域に根ざした多様な店舗展開～



グループ会社の株式会社食鮮館タイヨーでは8月に静岡県富士市に新店舗を出店いたしました。株式会社食鮮館タイヨーとしては最大売場面積での出店であり生鮮部門では対面販売を実施し、デリカ・ベイクも開口部を設けることで、旬の商材・品質・高鮮度を訴求しながら圧倒的な売場作りにより『活気のある売場』で臨場感を創出し、差別化を図っています。

またSMパローとV・drugは9月に岐阜県の中津川駒場に出店を致しました。SMパローでは8年前にオープンしたルビットタウン中津川店から進化した生鮮の売り場を、V・drugでは地域のニーズと地域の特性に合わせヘルスケア・ビューティー・介護部門を強化した店舗としております。

北欧倶楽部（ベーカリー事業） 新工場稼働



SMパローのベーカリー部門である北欧倶楽部は現在関西での好調で毎年2桁成長を達成しております。その成長に伴い、ベーカリー事業の出荷高も同様の成長を遂げております。今後も関西・また新しく出店する関東においても事業成長が見込まれることから、9月に既存の工場での生産アイテムの再編成を行い、岐阜県恵那市の旧店舗を新工場に転換することにより供給体制を整備し、焼成機能を新工場に担いさらなる製造能力の強化を進めます。

専門店業態の好調 ～差別化によるブランド強化～



中部フーズ株式会社では専門店事業を強化しており、カレーパン専門店の「ガラムとマサラ」は東海、関西に6店舗を出店しております。

「ガラムとマサラ」は、店内でひとつひとつ手包みし、店内で揚げることにこだわった、スパイス香るカレーパン専門店です。

特に「とろとろ煮豚のカレーパン」は「カレーパングランプリ2025」最高金賞を受賞いたしました。店内で2日かけてじっくり仕込んだとろとろの煮豚を、食べ応え抜群に大きくカット。38種類のスパイスとローストガーリックがアクセントのこだわりカレールーとともに包んでおります。

専門店事業を強化することにより得たノウハウをスーパーマーケットの店舗でも反映させ、価値ある惣菜を提供していきます。

自然共生 サイトへの登録



岐阜県可児市の当社研修センターに隣接する「パローの森」が、環境省が掲げる「30by30」の目標達成に向けて推進する「自然共生サイト」に認定されました。2011年より、100年後その先の未来につなぐため、樹木を植栽し、樹林を再生するとともに、既存山林に残存する地域特有の貴重植物とその生育環境を保全する整備活動を行ってまいりました。また、2022年からは、年3回、環境学習や体験型保全プログラムを実施しています。当社は、今後もこの活動を継続し、持続可能な社会の実現に向けたサステナビリティ経営を推進してまいります。

JCR格上げにより 財務基盤強化を評価

格付推移



株式会社日本格付研究所（JCR）より取得している信用格付について、2025年10月7日付で「A-」から「A」へ格上げされました。長期発行体格付および債券格付のいずれも1ノッチ引き上げとなり、見通しは「安定的」とされています。

今回の格上げは、当社グループの安定した収益基盤、財務の健全性、事業ポートフォリオの強化などが総合的に評価されたものと受け止めております。

格付理由などの詳細は、JCRのウェブサイトをご参照ください。

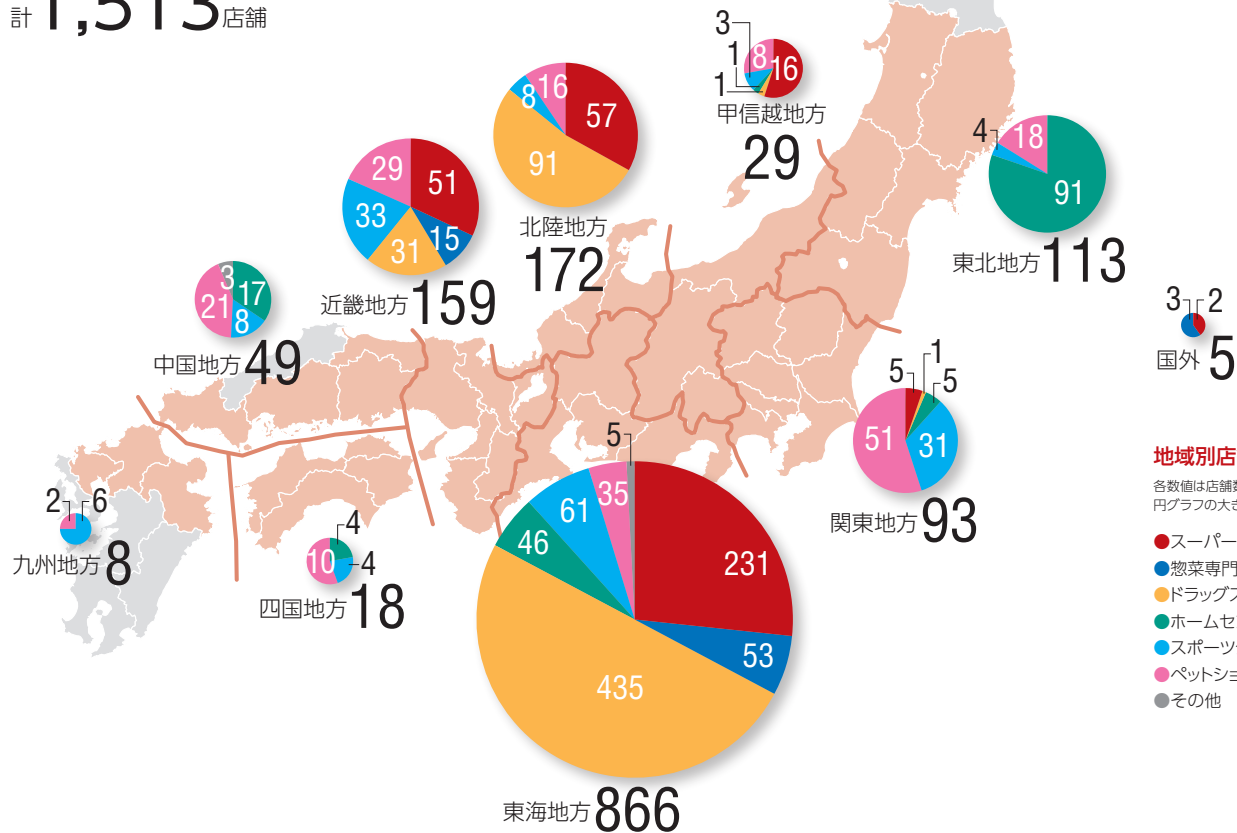
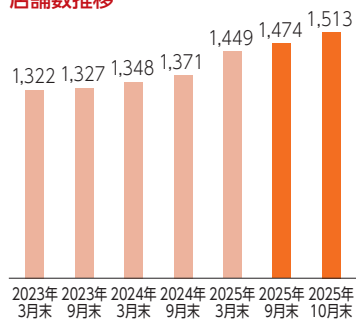
<https://www.jcr.co.jp/ratinglist/corp/9956>

業態別店舗数

スーパーマーケット 362 店舗	惣菜専門店等 71 店舗
ドラッグストア 559 店舗	ホームセンター 164 店舗
スポーツクラブ 159 店舗	ペットショップ 190 店舗
その他 8 店舗	

計 **1,513** 店舗

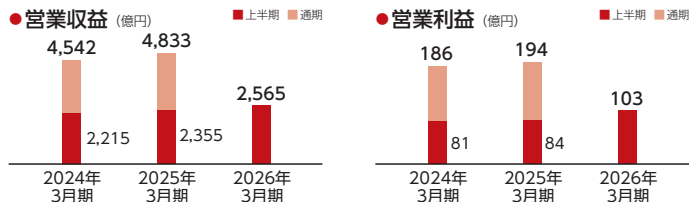
店舗数推移



スーパーマーケット(SM)事業

●営業収益割合 57.0%

営業収益 2,565億74百万円 営業利益 103億97百万円



SM事業の営業収益は2,565億74百万円(前年同期比8.9%増)、営業利益は103億97百万円(同23.1%増)となりました。同事業におきましては、株式会社パローが、4月の「SMパロー稲沢平和店」(愛知県稲沢市)を皮切りに、7月に「SMパロー香里園店」(大阪府豊川市)、「SMパロー八幡一ノ坪店」(京都府八幡市)、9月に「SMパロー尼崎潮江店」(兵庫県尼崎市)など、6店舗を開業し、3店舗を閉鎖しました。また、株式会社食鮮館タイヨーが8月に「食鮮館タイヨー富士永田町店」(静岡県富士市)を出店し、1店舗を閉鎖しました。

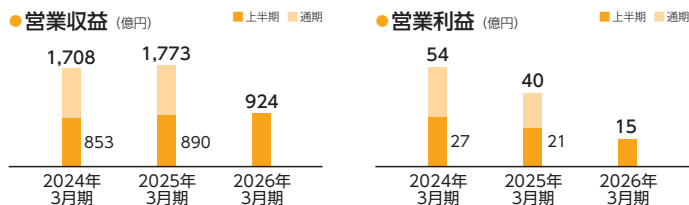
これらの結果、当中間期末のSM店舗数は新設7店舗、閉鎖4店舗のグループ合計328店舗となりました。また、株式会社タチヤ、株式会社八百鮮及び株式会社ヤマタにおきまして、昨年度新設した店舗の売上が計画を上回るなど、好調に推移しております。

一方、人件費や施設費を中心に販売費及び一般管理費が増加したものの、営業総利益の拡大により吸収し、増収増益となりました。

ドラッグストア事業

●営業収益割合 20.5%

営業収益 924億84百万円 営業利益 15億86百万円



ドラッグストア事業の営業収益は924億84百万円(前年同期比3.9%増)、営業利益は15億86百万円(同25.1%減)となりました。同事業におきましては、好調な調剤部門により売上高が伸びましたが、新規出店拡大に伴う人件費や施設費などの販売費及び一般管理費の増加を吸収しきれず、増収減益となりました。

一方、9月には当社グループとの連携をより強化し、立地特性に応じた新たな店舗フォーマットの開発へと舵を切りました。住宅街の単独立地店舗である「V・drug 瑞穂牛巻店」(愛知県名古屋瑞穂区)では、食品売場において、株式会社パローのPB商品「Valor Select(パローセレクト)」などを中心に展開しております。

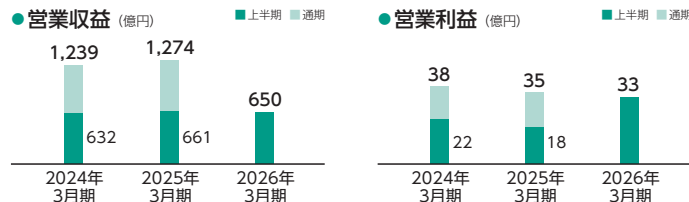
また、「SMパロー中津川駒場店」(岐阜県中津川市)が入店する複合商業施設「ライフガーデン中津川」内に新出した「V・drug中津川駒場店」では、食品の品目を絞り込みつつ、介護を含むヘルス&ビューティ関連商品を強化しております。

なお、当中間期末の店舗数は、新設21店舗、閉鎖4店舗及び子会社化による3店舗増により、合計555店舗(うち調剤取扱店舗222店舗)となりました。

ホームセンター(HC)事業*

●営業収益割合 14.4%

営業収益 650億79百万円 営業利益 33億28百万円



HC事業の営業収益は650億79百万円(前年同期比1.7%減)、営業利益は33億28百万円(同79.7%増)となりました。同事業におきましては、株式会社ダイユーエイト、株式会社ホームセンターパロー及び株式会社タイムの3社合計の既存店ベースで、客単価は前年同期比4.3%増加したものの、客数が同5.3%減少した結果、売上高は同1.2%の減収となりました。また、仕入条件や価格政策の見直し及びPB商品の売上構成比率の上昇により上記3社合計の売上総利益率が32.4%と前年同期比2.0%改善しました。これらの結果、減収増益となりました。なお、当中間期末の店舗数は、新設1店舗、閉鎖2店舗により、グループ合計で164店舗となりました。

ペットショップ事業*

●営業収益割合 3.9%

営業収益 177億10百万円 営業利益 3億80百万円

株式会社アミーゴでは、既存店ベースで客数が前年同期比1.8%減、客単価は横ばいとなり、既存店売上高は同1.8%減少しました。商品別では、犬・猫フード部門においてプレミアムフードやおやつが好調でした。生体部門では、メダカやシュリンプ、鳥類の販売強化に取り組みましたが、犬・猫の販売単価下落により売上が減少しました。一方、サービス部門は、トリミングサービスにおけるメニューの充実などにより好調に推移しました。株式会社犬の家では、犬・猫の単価下落を販売頭数増加で補ったほか、生体販売時の付帯サービス強化により売上が増加しました。この結果、株式会社アミーゴの新規出店や2024年12月に子会社化した株式会社犬の家の業績が当中間期の期初から寄与した一方で、コスト面では、人件費や販売費の上昇、新規出店に伴う初期費用の発生などにより、販売費及び一般管理費が増加し、増収減益となりました。

スポーツクラブ事業

●営業収益割合 1.2%

営業収益 56億2百万円 営業利益 57百万円

同事業におきましては、春に続き夏の短期水泳教室の入会者が増加したほか、各自自治体との行政連携の一環として推進している小学校の水泳授業の受託拡大やソーネットワークコミュニケーションズ株式会社の動画を活用したシステムの導入などが奏功し、スクール会員数が増加しました。さらに、昨年度のアクロス業態の会費改定も寄与し、増収となりました。

流通関連事業

●営業収益割合 2.3%

営業収益 104億64百万円 営業利益 23億48百万円

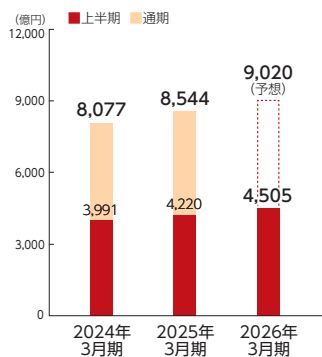
その他の事業

●営業収益割合 0.6%

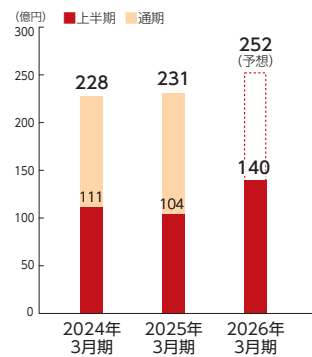
営業収益 26億26百万円 営業損失 1億0百万円

*当中間連結会計期間に含まれるアレナザホールディングス株式会社及びその子会社の当該事業の業績は、2026年2月期(2025年3月1日～2026年2月28日)を対象としております。

営業収益



営業利益



株式数及び株主数

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	53,987,499株
株主数	23,410名

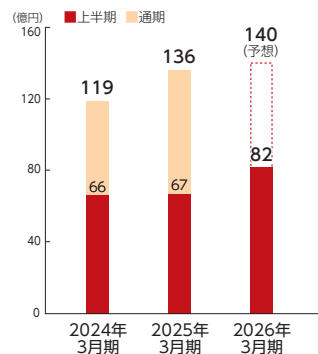
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)*
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,084	9.61
公益財団法人伊藤青少年育成奨学会	2,910	5.50
株式会社子雲社	2,730	5.16
農林中央金庫	2,542	4.80
株式会社十六銀行	2,536	4.79
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	2,135	4.03
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	1,377	2.60
田代 正美	1,350	2.55
株式会社リテールパートナーズ	1,260	2.38
株式会社アークス	1,260	2.38

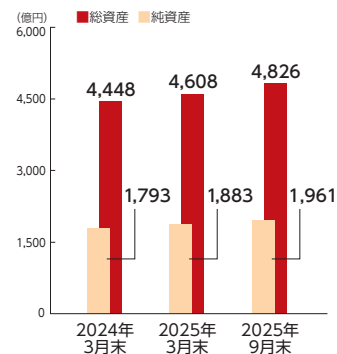
注：同一株式数を所有する場合、株主番号順に記載しております。

*発行済株式総数（自己株式を除く）に対する所有株式数の割合は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

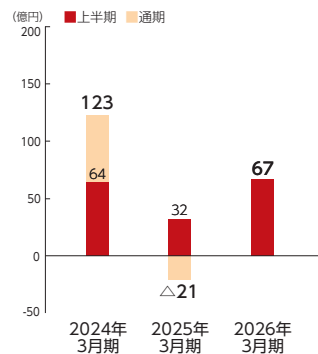
親会社株主に帰属する当期純利益



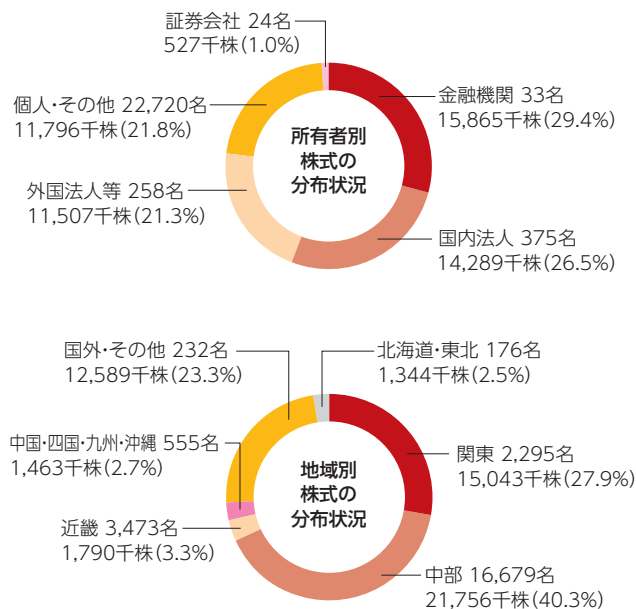
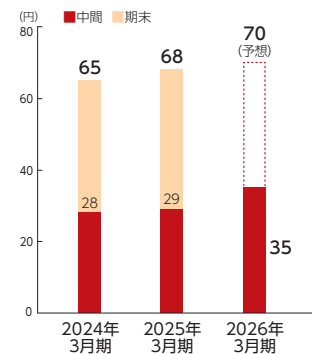
総資産／純資産



フリー・キャッシュ・フロー



1株当たり配当金



会社概要

会社名	株式会社パローホールディングス
設立	1958年7月 (2015年10月1日付で「株式会社パロー」より商号変更)
事業内容	チェーンストア事業及びそれに関する事業を営む会社の株式を保有することによる当該会社の事業活動の管理
本部所在地	岐阜県多治見市大針町661番地の1
資本金	136億9百万円
グループ従業員数	社員：10,987名 パート・アルバイト：21,265名 (8時間換算、期中平均)

グループ企業 (2025年11月30日現在)

事業区分	企業名	
●スーパーマーケット事業	株式会社パロー	本田水産株式会社
	株式会社タチヤ	古屋産業株式会社
	株式会社食鮮館タイヨー	株式会社桂林閣
	株式会社公正屋	有限会社白石罐詰工場
	株式会社フタバヤ	大東食研株式会社
	三幸株式会社	株式会社主婦の店商事中部本社
	株式会社てらお食品	株式会社Vソリューション
	株式会社八百鮮	中部ミート株式会社
	株式会社ヤマタ	中部アグリ株式会社
	株式会社ドミー	有限会社野元畜産
●ドラッグストア事業	中部フーズ株式会社	株式会社パローマックス*
	株式会社ダイエンフーズ	VARO Co.,Ltd.
	中部薬品株式会社	有限会社愛進堂薬局
●ホームセンター事業	有限会社東栄薬局	株式会社みお薬局
	株式会社ダイユーエイト	株式会社日敷
	株式会社タイム	株式会社アレンザ・ジャパン
●ペットショップ事業	株式会社ホームセンターパロー	株式会社ファースト
	株式会社アミーゴ	株式会社犬の家
●スポーツクラブ事業	株式会社アクロス	株式会社ウィング
	株式会社アーデル・フィットネス・リゾート	
●流通関連事業	中部流通株式会社	株式会社鷺富運送
	株式会社フェイス	メンテックス株式会社
	昭和フィルム株式会社	上海巴米貿易有限公司
	ユニードバック株式会社	Valor Vietnam Co.,Ltd.
	中部興産株式会社	株式会社パローエージェンシー
	有限会社アクセル	有限会社ジャパンクリーンサービス
●その他の事業	アレンザホールディングス株式会社	株式会社中部保険サービス
	有限会社アグリ元気岡山	株式会社パローマックス*
	株式会社岐阜ファミリーデパート	株式会社パローフィナンシャルサービス
	株式会社スパークル	

注：*同一企業

役員

氏 名	役 職	その他重要な役職の兼務
田代 正美	代表取締役会長 兼CEO	(株式会社パロー 代表取締役会長)
小池 孝幸	取締役社長	流通技術本部長 (中部興産株式会社 代表取締役社長)
森 克幸	専務取締役	(株式会社パロー 代表取締役社長) (株式会社タチヤ 代表取締役会長)
篠花 明	常務取締役	管理本部長兼人事部長 (株式会社パローマックス 代表取締役社長)
和賀登 盛作	取締役	(アレンザホールディングス株式会社 代表取締役社長) (株式会社ホームセンターパロー 代表取締役社長)
高巢 基彦	取締役	(中部薬品株式会社 代表取締役社長)
瀬瀬 直孝	取締役	(中部フーズ株式会社 代表取締役社長)
高橋 俊行	社外取締役	
山下 陽子	社外取締役	(今池法律事務所 パートナー弁護士)
小島 泰道	社外取締役	(学校法人駒澤大学 理事長)
安孫子 寿夫	取締役	常勤監査等委員
秦 博文	社外取締役	監査等委員
伊藤 時光	社外取締役	監査等委員

TOPICS

実業団剣道部

2025年4月よりパローホールディングス剣道部男子チームが発足いたしました。剣道部は新入社員も6名加わり女子チームも含めて総勢20名となります。

岐阜・大垣市武道館にておこなわれた第49回岐阜県事業団剣道大会に出場し、団体戦男子は初出場初優勝。団体戦女子も優勝し、パロー女子剣道部は3連覇を達成しました。

株主優待制度のご案内

毎年3月31日現在の所有株式数100株以上の株主様に対し、当社が発行する**プリペイド式電子マネー「Lu Vit (ルビット) カード」**に保有株式数及び継続保有期間に応じた**下記金額をチャージした「ギフトカード」**を株主優待品として贈呈しております。



「Lu Vit(ルビット)カード」

保有株式数	100株～499株	500株～999株	1,000株以上
1年未満 保有	1,000円	1,500円	3,000円
1年以上 保有	1,500円	3,000円	6,000円

- (注) 1. 継続保有期間とは、上記区分による株式数を基準日（毎年3月31日、9月30日）時点において同一株主番号で保有していることが当社株主名簿の記載・記録にて確認できる期間をいいます。なお、相続等により株主番号が変更になった場合は、その直後の基準日から起算いたします。
2. 本ギフトカードは、株式会社ジェーシービーのプリペイドスキームJCB PREMO（ジェーシービープレモ）を搭載しており、パローグループ主要店舗のほか、百貨店・家電量販店等、約70万店のJCB PREMO加盟店でご利用いただけます。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 〒100-8233 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 〒460-8685 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（フリーダイヤル）
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、やむをえない事情により電子公告ができない場合、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL	https://valorholdings.co.jp/ir/koukoku/

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社には口座をお持ちでなかった株主様につきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式会社 バルホールディングス

本部

〒507-0062

岐阜県多治見市大針町661番地の1

TEL: 0572-20-0860（代表）

可児事務所（株式事務）

〒509-0214 岐阜県可児市広見北反田

1957番地の2

TEL: 0574-60-0868

URL: <https://valorholdings.co.jp/>

IR情報掲載URL: <https://valorholdings.co.jp/ir/>



この報告書は、森林認証を受けたFSC®認証紙、及び、植物油インキを使用しています。